

②さいたま市図書館の一年

1 ICTの推進

さいたま市図書館ビジョン「知的好奇心に応える図書館」の取り組みとして、昨年度に引き続き、電子書籍を新たに3,000タイトル追加し、地域資料のデジタル化では、35点の貴重な資料をインターネットに公開しました。平成29年度末時点で、電子書籍は6,300タイトル、デジタル化した地域資料は99点となりました。

また、図書館に来館されない市民への情報発信として、図書館ホームページの情報やメールマガジンだけでなく、新たにSNS（ツイッター）による発信を11月から開始しました。随時各図書館のイベント情報を発信するとともに、その日にちなんだ本の紹介「今日は何の日、なにを読む？」を毎日ツイートし、3月末までに約25万回の閲覧をいただきました。

2 記念事業の実施

中央図書館は開館から10周年を迎え、記念事業としてイベントを開催しました。自動貸出機を使ったスタンプラリー「じどうかしだしきDEスタンプラリー」や参加型謎解きイベント「夜の図書館脱出ゲーム」、弁護士を招いた講座「誰でもわかる遺産相続講演会」、映像製作者による講演会「映像で振り返る石井桃子さんの生涯」を実施し、図書館のPRに努めました。また、東浦和図書館では20周年の記念展示を、大宮西部図書館では30周年記念事業として「移動図書館体験」を実施し、記念事業を通じて地域コミュニティの中での図書館の可能性を広げてまいりました。

3 大宮図書館の移転準備

平成31年5月に大宮区役所新庁舎に移転予定の大宮図書館について、平成29年4月に2回開催された大宮区役所新庁舎整備に関する市民説明会（懇談会）に事務局として参加し、市民のみなさまから貴重なご意見をいただきました。

また、6月には「大宮区役所新庁舎建設工事起工式」が行われ、建設工事がスタートしました。工事開始後も市民局とともに総合図の確認など事業者との打ち合わせを随時行いました。

4 図書館施設リフレッシュ工事

平成28年3月に策定した「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、老朽化対策をはじめ、バリアフリー化や省エネルギー化を図るための施設改修を実施し、長期的に安全・安心に利用できる施設整備を計画的に進めています。

平成29年度は岩槻図書館の大規模改修や、北浦和図書館、東浦和図書館、大宮西部図書館三橋分館の中規模修繕を行いました。